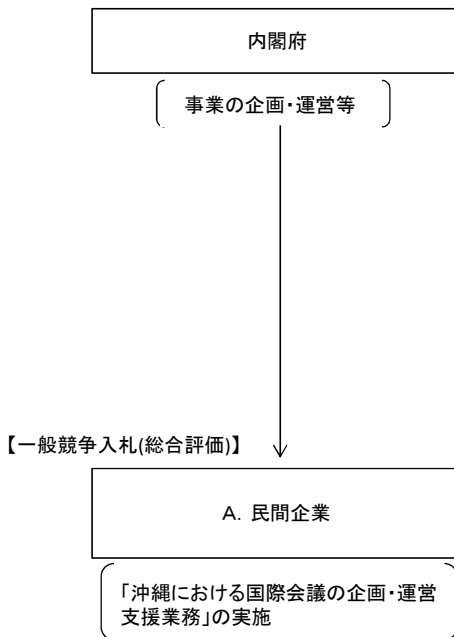


平成27年度行政事業レビューシート ( 内閣府 )

<b>事業名</b>	国際会議開催に必要な経費			<b>担当部局</b>	内閣府政策統括官(沖縄政策担当)		<b>作成責任者</b>	
<b>事業開始年度</b>	平成27年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	平成27年度	<b>担当課室</b>	総括担当 参事官室		参事官 三浦 健太郎	
<b>会計区分</b>	一般会計			<b>政策・施策名</b>	4.4 沖縄の特殊事情に伴う特別対策(政策1.2-施策④)			
<b>根拠法令(具体的な条項も記載)</b>	沖縄振興特別措置法			<b>関係する計画、通知等</b>	沖縄振興基本方針(平成24年5月 内閣総理大臣決定)			
<b>主要政策・施策</b>	沖縄振興、地方創生			<b>主要経費</b>	その他の事項経費			
<b>事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	沖縄において、サイバーセキュリティに関する国際会議を開催し、各国の有名な政治家、経営者、研究者等を沖縄へ招待して沖縄の魅力を知り・広報することにより、今後の沖縄振興へつなげることを目的とする。							
<b>事業概要(5行程度以内。別添可)</b>	①国際会議へ海外の参加者(有名な政治家、経営者、研究者等)の招へいを行うこと ②国際会議の開催及び成果の広報を海外メディアを使いながら広く行うこと ③国際会議の運営を行うこと							
<b>実施方法</b>	委託・請負							
<b>予算額・執行額(単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	-	-	-	354	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
		計	0	0	0	354	0	
	執行額	-	-	-	-	-		
	執行率(%)	-	-	-	-	-		
<b>成果目標及び成果実績(アウトカム)</b>	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度	
	会議開催にあたり各国の有名な政治家、経営者、研究者等200人程度の参加を確保し、沖縄の魅力を周知・広報することにより、今後の沖縄振興への寄与を図る。	国際会議に参加する各国の有力な政治家(閣僚級等)、著名な経営者、影響力のある研究者等の総人数	成果実績	人	-	-	-	-
			目標値	人	-	-	-	200
			達成度	%	-	-	-	-
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							<input type="checkbox"/> チェック	
<b>活動指標及び活動実績(アウトプット)</b>	活動指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	各国の有名な政治家、経営者、研究者等200人程度の参加を確保した国際会議の実施	活動実績 当初見込み	会議の実施 会議の実施	- -	- -	- -	1	
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠	単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込		
	国際会議の開催 執行額÷実施回数	単位当たりコスト 計算式	百万円 執行額/実施回数	- -	- -	- -	354 執行見込額354(百万円)÷1(回)	
平成27・28年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	沖縄振興開発調査委託費	354	-	平成27年度限りの経費				
	計	354	0					

事業所管部局による点検・改善						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	内閣府は、会議の主催者として沖縄の魅力を世界に広く発信し、沖縄振興に役立てる必要がある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	沖縄の魅力を世界に発信することは、今後の沖縄振興にとって重要な課題であり、沖縄振興に基づいた国の責務の一環として取り組む必要がある。		
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	会議を開催し沖縄のアジアのゲートウェイとしてのメリットを世界に発信し高めることは、沖縄振興をするうえで、必要不可欠で重要な事業である。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	一般競争入札(総合評価)により委託業者を決定し、競争性を確保する予定である。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	事業内容や経費については事前に十分な検討・精査を行い実施しており、単位当たりコストの水準は妥当である。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	会議開催に必要なものだけを計上している。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-			
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		-			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-			
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
点検・改善結果	点検結果					
	改善の方向性					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	事業の有効性・成果について適切に検証するとともに、予算の効率的執行に努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	事業の有効性・成果を念頭において、今後も効率的な予算執行に努めてまいりたい。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	-	平成26年度	-			

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

費目・用途  
(「資金の流れ」に

A.

E.

おいてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)

費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載  チェック

支出先上位10者リスト

A.

支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
-----	------	--------------	------	-----

B.

支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
-----	------	--------------	------	-----

C.

支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
-----	------	--------------	------	-----

D.

支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
-----	------	--------------	------	-----

E.

支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
-----	------	--------------	------	-----

F.

支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
-----	------	--------------	------	-----

G.

支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
-----	------	--------------	------	-----

H.

支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
-----	------	--------------	------	-----

支出先上位10社リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載  チェック